

福岡県篠栗町

そとぐり

議会だより

No. 191

子育てママ奮闘中♡2

まちのお金はこう使います(一般会計予算)4

主な条例の制定.....6

ここをどうする!?(9人が一般質問)8



平成29年3月議会号
子育てサロン意見交換会

特集 意見交換会

子育てママ奮闘中



第5回 子育てサロン参加者

今回は、子育て中のママに集まっていただきました。

親、子、議員、職員の総勢26人の大座談会。子育ての楽しさや苦労から、篠栗のいいところ、町への要望、女性の職場復帰の問題まで、にぎやかな中に内容の濃い意見交換会でした。

子育ての中で楽しいこと、しあわせを感じることは？

- 毎日「好き」って言うってくれます。めっちゃ幸せです。
- オアシスの「のびのびサロン」に参加していますが、踊ったり歌ったり、楽しそうな姿を見ると幸せです。
- 子どもを通していろんな人と繋がることが出来ています。また、子どもを通して、社会とも繋がっていければと思います。
- 福岡市から篠栗に来て不安でしたが、子育てサロンや児童館を通して、人と人の近さ、壁の薄さに「心強いな」って思いました。

篠栗町の雰囲気は？

- 鹿児島の実家を思い出して、暮らしやすいと感じました。おじいちゃん、おばあちゃんにも声をかけてもらえますし、いい雰囲気だと思います。
- 交通の便もいいし、子育て環境もいいし、町の雰囲気もいいので、いいところに住んだなと思います。
- 愛知に住んでいたのですが、この辺りの知識がなかったのですが、すごくいい所でした。動きたくないです。

子育てはしやすい？

- 「べりっこだより」が便利でいつもみんなで「どれに行こうか」って話し合っています。
- 篠栗には児童館が3つもあって、自由開放で、先生方もしつかりと教えて下さるし、相談にも乗ってくださるので本当にありがたいです。
- 児童館にお弁当を作って行って、遊んで、帰りの車の中で寝るようなリズムが出来て、ちょっとした保育園に行っている感じがして、すごくありがたいと思います。

子育てサロンはどんな感じ？

- 私は結婚前から篠栗なので、こうやって「いいこだよ」って言うてもらえると、鼻が高いです。(笑)
- 多いところは30人くらい。乙犬は多い時で20人。それにプラス子どもなので、100人超えもたまにあります。
- 食べ物系のイベントの時は結構多かったです。(笑)
- 正月はおせち料理とか、節分には巻きずしを教えていただきました。



地域の方の参加は？

● 本音を言うと、おじいちゃん、おばあちゃん方に来て欲しいです。お互い顔見知りになって、親としては、(地域で)子どもを知ってもらえることは、安心もできます。

「どうだったらいいのになあ」は、ありますか？

● 3歳から医療費がかかるのに、びっくりしました。私の地元では、小学校が中学校からでしたから。

● 予防接種の問診票などを(数種類)

一括で渡されて、一気に説明されるので、「どうしていいのかわからない」、「自分でやらなきゃいけないんだ」という感じがあって、行くのが遠のいてしまったりします。

● 保育料の割り当て(算定等級)の幅が広いので、もう少し小刻みならいいなと思います。女性が職場復帰するのは(保育料が大幅に上がるので)難しいのかなと感じています。

● 町外から引越してきたんですが、2人目、3人目を考えるときに、保育園に通っている3歳以下の子は、下の子のために育児休暇をとると

「退園しなければいけない」とのこと。私は職場復帰できなかったんですけど、上の子の退園と保育料の幅は大きかったですね。

● オアシスに子どもを遊ばせる場所があったら嬉しいと思っています。図書館があって、巡回バスもあるのが車がない人も、いつでも行けると思います。

● カプトの森公園に1歳くらいの子でも遊べる遊具が欲しいです。

● 跨線橋が老朽化しているので、小さい子を抱っこしていると踏み外しやすいし、お年寄りも結構多いのでき

れいになればと思います。
● お金がかかっても、幼稚園に給食があればいいですね。

議会の雰囲気は？

● もっとお堅いイメージでした。(笑)

はじめの内は、安心して聴いていましたが、後半は少し耳が痛かったです。(苦笑)
● 貴重なご意見をありがとうございます。

219万円

平成29年度一般会計予算

前年比 3億3081万円(3.5%)増

(※) 増額の主な要因は篠栗駅東側自由通路工事費計上によるもの。

まちの主な仕事

3月2日から15日まで、14日間の会期で開催しました。総務建設・文教厚生常任委員会、予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算、29年度当初予算案など21議案を審査しました。また最終日の本会議にて、すべての議案が原案のとおり可決されました。各議案に対する賛否一覧を7ページに掲載しています。



JR篠栗駅東側自由通路鳥瞰図



内観（南から）

(万円未満四捨五入)

- | | |
|---|---|
| ・篠栗駅東側自由通路工事 …………… 4億5313万 | ・自立支援サービス給付 …………… 4億6463万 |
| ・包括業務委託料 …………… 2億4759万 | ・保育所運営委託料 …………… 7億 549万 |
| ・起債元金及び利子償還費用 …………… 7億8372万 | ・予防事業委託料 …………… 9946万 |
| ・特別会計等への繰出金 …………… 7億 470万 | ・総合保健福祉センター管理費・
指定管理委託料…………… 1億1020万 |
| ・北勢門小学校施設整備事業費
(トイレ及び渡廊下)…………… 1223万 | ・町営林保全事業 …………… 2143万 |
| | ・尾仲乙犬水路対策費 …………… 5000万 |
| | ・防災無線整備費 …………… 507万 |
| | ・篠栗北地区産業団地整備事業 …………… 6520万 |

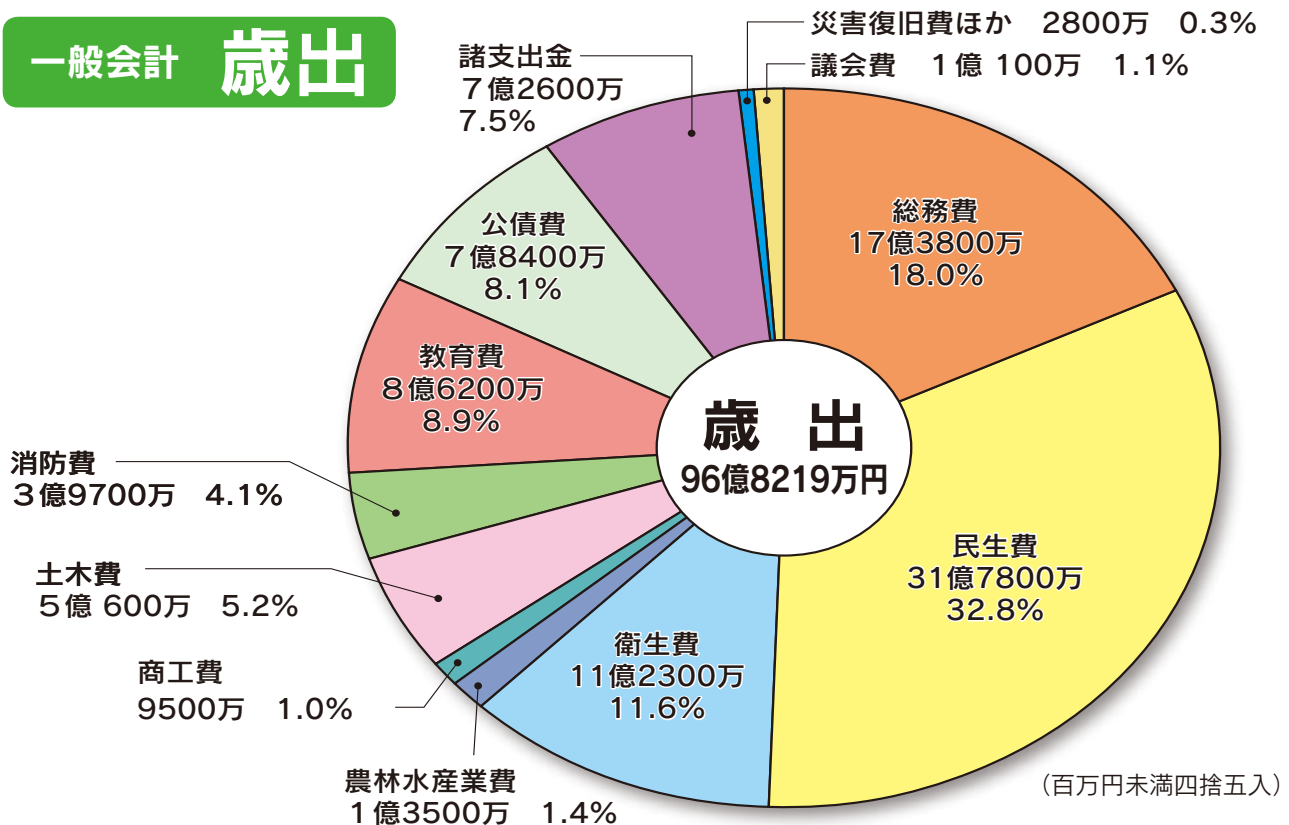


篠栗北地区産業団地造成イメージ図

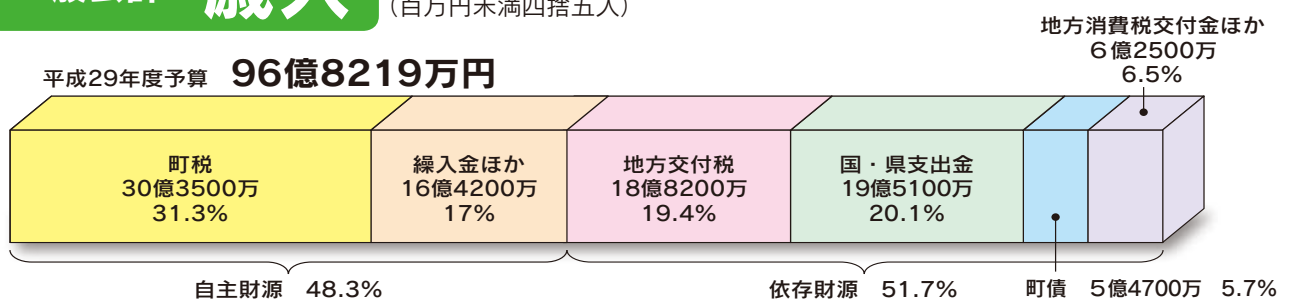
町のお金は
こう使います

96億8

一般会計 歳出



一般会計 歳入



特別会計予算

(百万円未満四捨五入)

会計	29年度予算	対前年度増減	
国民健康保険会計	37億8300万	3400万	
後期高齢者医療会計	4億1100万	2100万	
流域関連公共 下水道事業会計	収益的支出	8億2900万	3600万
	資本的支出	5億4200万	8800万
水道事業会計	収益的支出	5億300万	△300万
	資本的支出	1億8900万	4600万
篠栗北地区産業団地整備事業会計	6500万	△1300万	
合計	63億2200万	2億800万	

主な条例の制定

自由通路を町道認定

町道の認定

篠栗駅東側自由通路整備事業に伴い、当該自由通路を道路法上の道路として位置付ける必要があるため、議決を求められた。

名称は篠栗駅東側自由通路線、延長67m、幅員3.5mの歩行者専用道路。

自由通路、JRと基本協定

基本協定の締結

国土交通省が定めた「自由通路の整備及び管理に関する要綱」に基づき、九州旅客鉄道株式会社と工事に関する基本協定を締結した。

協定金額は、8億1805万2000円。
(協定期間は、平成30年度末まで)

駐輪場の利用規定を条例化

篠栗町自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例の制定

JR篠栗駅周辺の駐輪場の利用者の利便及び交通の安全と円滑化を図り、適切な管理運営に必要な事項を定めた。

主な内容は、使用できる車両の種類、利用者が守るべき事項、禁止行為および禁止行為に対する措置等。
(平成29年4月1日から施行)

健康増進計画、幅広い意見を聴取

篠栗町健康増進計画策定委員会設置条例の制定

健康増進法に基づき、篠栗町健康増進計画策定委員会を設置するもので、学識経験者や住民等から幅広い意見を聴取し、計画に反映させることを目的とする。

構成は学識経験者、関係団体の推薦による者、住民の代表者など18名以内。
(公布の日から施行)

補正予算

一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。

- 国民健康保険特別会計は、主に一般会計からの法定外繰入、補助金・交付金の確定による減額補正。
- 後期高齢者医療特別会計は、主に後期高齢者医療広域連合納付金の確定による減額補正。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満四捨五入)

地方消費税交付金	2896万
地方交付税	2419万
県支出金	1174万
財産収入	9364万
諸収入	1443万

(表2) 歳出の主なもの

農林水産業費	1125万
教育費	1468万
諸支出金	1億9208万

各会計補正予算額

会 計	補 正 額	補正後予算額
一般会計	1億5107万	102億4154万
国民健康保険特別会計	△2430万	38億7608万
後期高齢者医療特別会計	△2052万	3億8148万

人事

副町長に松田氏



松田 秀幹氏

城戸清壽氏が3月31日をもって退任され、新たに松田秀幹氏が選任されました。
任期 平成29年4月1日～平成33年3月31日

代表監査委員に今長谷氏



今長谷 潔氏

福原和男氏が3月31日をもって退任され、新たに今長谷潔氏が選任されました。
任期 平成29年4月1日～平成33年3月31日

委員会活動

2月22日(水)

文教厚生常任委員会(学校連絡協議会)

4月13日(木)

広報広聴委員会

委員長 今長谷武和、副委員長 田辺弘之の辞任(4月30日付)を承認。
新たに委員長 栗須信治、副委員長 古屋宏治が選任されました。

任期 平成29年5月1日～平成31年4月30日

議会視察受け入れ

タブレット会議システム

2月7日(火)

大阪府南部地区議長会

2月8日(水)

岡垣町議会

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号) 篠栗町税条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成承認
2	副町長の選任	出席者全員賛成同意
3	篠栗町監査委員の選任	出席者全員賛成同意
4	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	出席者全員賛成同意
5	篠栗町自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例の制定	全員賛成可決
6	篠栗町健康増進計画策定委員会設置条例の制定	全員賛成可決
7	職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
8	職員の休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
9	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
10	篠栗町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	全員賛成可決
11	町道の認定	全員賛成可決
12	基本協定の締結	賛成多数可決【賛成10:反対1(荒牧)】
13	平成28年度篠栗町一般会計補正予算(第5号)	全員賛成可決
14	平成28年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	全員賛成可決
15	平成28年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	全員賛成可決
16	平成29年度篠栗町一般会計予算	全員賛成可決
17	平成29年度篠栗町国民健康保険特別会計予算	全員賛成可決
18	平成29年度篠栗町後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成可決
19	平成29年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計予算	全員賛成可決
20	平成29年度篠栗町水道事業会計予算	全員賛成可決
21	平成29年度篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計予算	全員賛成可決

※村瀬議員 開会日(3/2) 病欠欠席

9人が一般質問

9人が一般質問

1. 村瀬 敬太郎 議員…………… 9
 - サイレン吹鳴、続けるべきでは
2. 今長谷 武和 議員…………… 10
 - 高齢者運転免許証自主返納者への支援は
3. 田辺 弘之 議員…………… 11
 - 子ども議会の開催を
4. 松田 國守 議員…………… 12
 - 特別の教科道德の導入に対する取り組みは
5. 荒牧 泰範 議員…………… 13
 - 郷土出身者のなお一層の周知で若者の未来への奮起と町のPRを望む
6. 山田 眞士 議員…………… 14
 - 無人航空機（ドローン）の活用は
7. 大楠 英志 議員…………… 15
 - 中学校教室木質化の総括を問う
8. 栗須 信治 議員…………… 16
 - 特別支援教育に「通級による指導教育」の導入を
9. 横山 久義 議員…………… 17
 - 総合案内と総合窓口の連携の改善を

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

サイレン吹鳴、続けるべきでは

町長「より効果的な啓発に努める」



村瀬 敬太郎

新潟県糸魚川市の大規模火災、埼玉県三芳町の倉庫火災など大規模火災が頻発しており、誰もが図らずも火元となりうることを改めて自覚させられた。

3月1日～7日まで春季全国火災予防運動が実施され、全国で防火防災に対する啓発がなされている。

わが町でも消防団の非常呼集訓練や幼年消防クラブ・少年消防クラブによる啓発など、さまざまな活動がなされており、住民の防火防災意識の向上に繋がっている。

間を認識する機会が減っていると思われ。一部住民からの苦情は承知しているが、真に住民のための防災を考えるとき、火災予防意識を向上しうるサイレンの吹鳴は続けるべきと考えるが、見解を尋ねる。

【町長】

サイレン吹鳴は、春と秋の全国火災予防運動にあわせ、長年にわたり7時と21時に防火防災の啓発を目的に実施してきたが、広報誌等で事前予告を行っているにも関わらず、さまざまな苦情が寄せられている。

苦情には、趣旨を丁寧に説明し、理解と協力をお願いしてきたが、医療機関が多い本町においては、「動悸・息切れがする」「発作を起こす」という疾患等に関する苦情も寄せられている。

こうした経緯から、本年度のサイレン吹鳴は、消防団の非常呼集訓練時における1回のみとし、火災予防運動の前日10時と19時に、防災行政無線による注意喚起放送を行う形に変更し



春の防火週間 夜警巡回

た。また、消防団・消防署・防災協会による合同パレードや、消防団による各行政区の巡回といった従来の啓発活動に加え、新しい取組みとして、消防団女性消防隊による篠栗駅前での街頭啓発を実施した。

サイレン吹鳴の廃止により、

住民の火災予防意識が低下しないよう、各種情報メディアの積極的活用や役場壁面懸垂幕での広告、消防団による巡回活動の強化など、より効果的な啓発活動を進め、安全・安心なまちづくりに全力をあげて取り組んでまいりたい。

高齢者運転免許証自主返納者への支援は

町長「対策を講じていく」



今長谷 武和

近年、高齢者の事故が増大している。一昨年、福岡県内での75歳以上の死亡事故は23件で、右肩あがりの状況である。

今年3月施行の改正道交法で、免許更新時に実施していた認知機能検査を75歳以上の運転者が違反した場合、臨時の検査で「認知症」と診断されれば、施行前の10倍の方が、免許取り消しや停止になると試算されている。年々増加する高齢者の交通事故の打開策を見いだすために自主返納制度があるが、生活の利便上、手放す訳にはいかな

え事故防止にも繋がると思っている。次のことを問う。

問 自主返納を促進する啓発はなされているか。

答【総務課長】 本町は多くの山間地区を抱え、自主返納は日常生活に大きく支障をきたす。高齢者の移動手段の確保等、総合的な生活支援策とも繋がる問題なので、運転免許証自主返納の啓発は行っていない。

問 自主返納支援の現状は。

答【総務課長】 自主返納に関する具体的な相談はまだ1件もなく、取組は今のところ行っていない。

問 今後の自主返納者への取組は。

答【総務課長】 高齢化が進む中、本町にお

ても高齢者運転による事故の増加は予想される。自主返納者支援は交通安全対策の有効な方策のひとつと認識しており、粕屋町をはじめ福岡県下10市町村では既に支援が行われている。

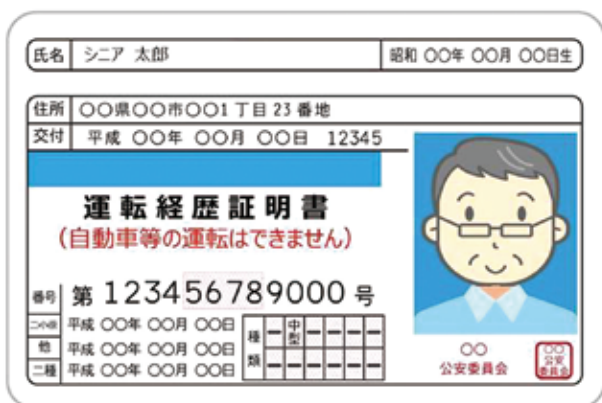
限りある財源のなかで、県が実施する「市町村高齢者運転免許証自主返納支援」を活用し、自主返納特典制度を関係機関と協議し、対策を検討していく。

答【町長】 昨年、町内で発生した交通事故件数は173件。その内、高

齢者が関係する事故件数は44件で増加傾向にあることから、指摘の通り対策を講じていかなければならない。

要望 車を所持していれば経費も高み、運転にも不安を感じるが、日常生活の不便のため手放せないとの声が多い。町内巡回バスの増発や路線増、電動アシスト自転車購入時の一部補助等の検討を強く要望する。

※ 運転経歴証明書
自動車運転免許証を自主返納した者に、申請により交付される証明書で、運転経歴を証明するとともに、本人確認書類としても使用できる。



運転経歴証明書

子ども議会の開催を

教育長「一つの方法として、子ども議会の開催も検討してまいりたい」



田辺 弘之

問.....

1月29日に粕屋町で2回目の「子ども議会」が開催された。質問は「あいさつ運動をどう推進していくか」「不登校問題に對してどのように向き合っていくのか」「子どもからお年寄りの方みんなが安心して暮らせるまちづくり」など多岐にわたるものであった。

子ども議会の開催は、全国の町村では平成18年で実施率9.2%が、26年度では15.5町村で16.7%と増えている。子どもたちの生の意見を聞く場として、篠栗町でも「子ども議会」を開催されてはいいかがか。

答【教育長】

子どもたちがまちづくりや行政などについて、町当局に質問・提案することは、議会・行政の意義やしくみを理解し、地域に関心を持ち、その将来を考えるとともに、社会参画への態度や意欲を培う上で有意義なことと考える。

本町では3小学校の校区づくり研修会や青少年健全育成会議、町づくりフォーラムなどで首長部局や教育委員会も参加した上で、小中学生の意見表明の場を積極的に設けている。

学校においても、篠栗町志^{こがね}育の一環として、地域住民の方々と協働してあいさつ運動や清掃活動など、児童生徒が自ら考え行動する人材育成を推進している。一つの方法として、子ども議会の開催についても検討してまいりたい。

問.....

第6次篠栗町総合計画策定に伴い、子どもたちの町に対する様々な意見をできるだけ多く聞けたらと思うが。

答【教育長】

第6次篠栗町総合計画策定プロジェクトチームで昨年9月にアンケートを実施。町内二つの中学3年生約300人から回答を得ている。将来の町づくりに活かしていきたい。

問.....

町長はどうお考えか。

答【町長】

私見として、粕屋町では議会活性化委員会が、町議会として

子どもたちが粕屋町の将来について考えることを趣旨として開催されている。篠栗町の子ども議会の開催は、議会として提案、計画作成、運営に取り組まれてはと考える。

議員の皆様も得意分野や自分の夢を乗せた答弁していくことも、篠栗方式としてはいいのではないか。



特別の教科道徳の導入に対する取り組みは

教育長「“読む道徳” から
“考え、議論する道徳” へ」



松田 國守

深刻化するいじめ問題の解決のために、重要な役割を果たすと期待されている「特別の教科道徳」が平成30年度に小学校で、31年度に中学校で導入される。戦後間もないころから今日までの70年間、道徳は教科ではなかったため、保護者は勿論大人の大半が道徳教育を受けてきていない中での導入である。

問

学校現場の対応と取り組みは。

答【教育長】

平成25年度に篠栗小学校で「読む道徳」から「考え、議論する道徳」の研究を進め、27年12月に町内全小中学校教諭と県内

外からの計400名の参加のもと、授業公開と研究協議会を開催し、授業の質的転換を図る研修会を行った。28年度には「初任者研修、若手教師研修会、道徳担当者研修会」を実施。29年度には、「考え、議論する道徳」の全面実施を行うよう進めているところにある。

問

篠栗町教育委員会が目指している道徳教育は。

答【教育長】

急激な情報化やグローバル化によって価値観が多様化する中で、子どもの自立心や自律性の育成、基本的な生活習慣、規範意識、人間関係を築く力、社会参画への意欲や態度の育成が重要である。なお具体的な人生の目標や生きる意欲を持たせる必要があると考え、現在進めている志教育の地域貢献体験活動と関連させ、故郷篠栗と自分のかわりについて「考え、議論させる」ことを通して郷土愛を育み、道徳的な判断力、心情、実

践意欲と態度を養っていく道徳教育を目指している。

問

心豊かな子どもを育成していく責任はわれわれ大人たちにあるとして、大人一人ひとりが道徳教育に向き合い、社会全体で道徳心の涵養にと、道徳の公開授業、あるいは道徳参観授業を行っている学校があると聴くが…。

答【教育長】

本町でも、従前よりPTAの学習参観や祖父母を招いた土曜授業の際に、道徳の授業公開を義務づけ、保護者や地域の方が授業を参観できるようにしている。今後も学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの豊かな心を育むことができる教育の推進を行っていく。



二宮尊徳像

郷土出身者のなお一層の周知で 若者の未来への奮起と町のPRを望む

町長「全体の表彰規定を検討する」



荒牧 泰範

問……………

「少しでも村おこしの会」を始めとする方々からの推薦書により現在、黒瀬純さんと佐田正樹さんにふるさと観光大使を委嘱し、郷土のPRは元より若者へ夢を与えるという重要な任務もこなして頂いている。

ここで彼らの就任からの大使としての仕事振りを披露して、住民へのなお一層の周知を促し活動への理解を深め、更なる活動への励みにしていただきたいと思う。

また、篠栗出身者もしくは在住者で各界において活躍されている方を表彰されてはいいかか。

例えば読売ジャイアンツの村

田修一選手は巨人軍の4番バッターを務め、WBCの日本代表にも選出され、日本のみならず世界でも活躍されている。

現在の町の表彰規定にはその項目が存在せず、町政に対する功労と善行表彰しかない。そこでスポーツや文化・芸術などの功労賞の新設や、名誉町民の称号を贈呈する規定を新たに加えて、町のPRの促進や住民意識の高揚を図るべきと思うがいかがか。

答【町長】

ふるさと観光大使は早いもので3年余りの任期を終えようとしており、活動の一部を紹介すると、一昨年、成人式におけるビデオメッセージや天神での企業等研修誘致イベントでのトークショーで篠栗の魅力を発信し、テレビ番組でもダウンタウンの松本氏やリンクの高木さんらと町のPRを担っている。4月29日の春らんまんハイキングで引き続き就任式を執り行う。

村田選手は、糟屋地区少年野球で「村田修一杯」を続けてお

られ、子どもたちが目指す選手であり、WBC優勝時には表彰記念品を贈呈した。

今後は議員の意見を踏まえ、時代にあつた表彰を検討する時期と考えるが、住民の気運の高まりが一番重要と思われる。

現在の表彰規定はハードルが

高いと言われ、より多くの表彰との意味で教育委員会表彰を行っているが、指摘のとおり町の表彰ではないとの疑問もあると思う。

今後、全体の表彰規定を考えることも検討する。



ふるさと観光大使委嘱式

無人航空機(ドローン)の活用は

町長「関係各課と協議を進める」



山田 眞士

問

近年、無人航空機「ドローン」を使用し撮影された映像がテレビ等で多数紹介されている。

茨城県水戸市では、市の魅力を発信する目的で様々な空撮映像を公開するために導入されているようである。他の自治体でも同様に導入の実績や動きがある。

本町でも様々な名所を撮影し、ホームページやフェイスブックで視聴できる仕組みを構築するために導入してはいいかが。

ドローンは行事や景観の空撮の他、目視点検が難しい橋梁等の保守・メンテナンスにも活用でき、さらには災害時の状況把握

にも大きな成果が見込めるようだ。

ただし、導入、活用に当たって技術の習得や航空法の規制、プライバシーや肖像権の侵害対策等課題は多いと思うが、今後町での導入についてどう考えてあるか伺いたい。

答【町長】

篠栗町の新たな魅力を発信するには、今までのように紙媒体の写真だけでなく、ホームページやフェイスブック上で視聴できる仕組みを構築し、違う視点で町内外に発信しなければならぬと考えている。

指摘のとおり、ドローンで空撮を行うことは、従来なしえなかった別視点での撮影方法であり、アピールしたい風景を多角的に捉えることで、新しい驚きと魅力が再発見されると考える。

災害が発生した現場では安全確保と詳細な現状把握が可能となり、災害復旧への足がかりとなり、公的施設の維持管理において高所部分の点検等は専門

業者に頼らざるを得ないことが多々あるので、ドローンを活用し、映像による点検を行うことで問題箇所の発見が容易となる。

その他、ドローン使用に関する規則や安全対策に対する指針をドローン規正法に従って定める必要がある、操作技術の習得も不可欠となる。

今後、関係各課と協議を進め、維持管理も含む費用対効果等を考慮した上で必要性があると判断されれば予算化を検討したいと考えている。



中学校教室木質化の総括を問う

学校教育課長「大きな効果が見て取れる」



大楠 英志

①木の良さを実感した。59%
 ②木材を使った公共施設を増やした方が良い。46%

問.....
 中学校教室木質化は、平成25年度篠栗北中学校における木質化モデルルームに始まった。26年度から本格的着工となり、28年度をもって篠栗中・篠栗北中学校の木質化工事が終了した。これに伴い事業の総括的質問を行う。
 事業目的と概要の説明、併せて事業総額と補助金額を尋ねる。

答【学校教育課長】

教室の木質化を通じて、教育環境の向上を図ることが主な目的である。町内の森林で育まれた杉・桧を利用することで、「持続的な森林づくり」「大工仕事の

継承」も包括的に考慮している。事業の概要は平成26年度、両中学校11教室・27年度16教室・28年度11教室の床・壁面を木質化している。総事業費は1億925万円。補助金は26・27年度の森林整備事業費として農林水産省から補助対象費の1/2となる3645万円を得ている。

問.....

事業効果の主な事項と生徒や視察に来町された方のアンケート調査報告を求める。

答【学校教育課長】

生徒が過ごす教室が、木の温もりや匂いに満ちた快適な空間となり、暑さや寒さが心理的、体感的に和らいだこと。教室内外の物音に対する吸音効果により、勉強に励む環境が整ったこと、地元産木材の使用による郷土愛の深まりなどが挙げられる。アンケート調査は約3000人を対象に行った。

③家を建てる時地域の木材を使用したと思う。施設を見てそう思った。46%と大きな事業効果が見て取れる。

問.....

次は小学校の順番であると児童・関係者は期待されている。町長から報告で補助制度や補助率の変更され、町単独事業としての継続は難しいと聞いている。

答【学校教育課長】

小学校は、施設長寿命化の計画策定段階で検討すると共に、国庫補助金の動向を注視する。



中学校教室木質化

問.....
 事業目的に資源活用と地域経済活性化に資するとある。成果報告を求める。

答【産業観光課長】

木材は萩尾地区町有林の杉・桧を供与した。

特別支援教育に 「通級による指導教育」の導入を

教育長「4月の開設に向け準備を進めている」



栗須 信治

問

発達障害や聴覚・視覚に比較
的軽度な障がいのある児童・生
徒が、通常学級に在籍しながら
障がいの特性に応じて別室で
コミュニケーションや教科の補
充授業を受ける「通級学級」の
充実を求める声がひろがってい
る。

文部科学省によると、公立小
中学校で通級指導を受けている
児童・生徒は、2015年には
9万人を超え、この10年で2.
3倍となっている。

また、2012年の調査では、
発達障害をもつ可能性のある子
どもは全体の6.5%で、40人
クラスなら2人の割合である。

本町では、支援員が配置され

答【教育長】

「特別支援学級」が開設されて
いるが、障がいに配慮したきめ
細かな学習支援が受けられるよ
う、通級による指導教育を導入
してはどうか。特別支援学級の
現状とあわせて尋ねる。

平成28年度、本町における特
別支援教育の状況は、小学校3
校に特別支援学級が10学級、中
学校2校に5学級で、小学校に
55名、中学校に25名の児童・生
徒が在籍している。

学級の指導は、県費による担
当教諭のほか、町費による補助
教員を複数人配置し、在籍する
児童・生徒に配慮した環境を整
えている。

「通級による指導」いわゆる「通
級指導教室」については、対象
とする障がいや運営の具体的方
式について検討する準備委員会
が28年度に発足し、検討の結果、
発達障害を持つ児童・生徒を対
象に、通学や保護者の送迎の負
担軽減を考慮し、担当教員が各
学校を巡回し指導を行う「巡回
方式」で設置すべきとの結論に

要望

至った。
現在、4月の開設に向け準備
を進めている。
開設が決定すれば、円滑な運
用と個々のニーズに応じた特別
支援教育に務めたい。

この取り組みには、乳幼児期
から健康課・福祉課・こども育
成課・学校教育課などが、連携
する事により支援がスムーズに
つながる。

子どもを養育しているすべて
の人が、安心して子育てができ
るよう推進してもらいたい。



特別支援教育

総合案内と総合窓口の連携の改善を

町長「利用しやすい窓口体系にしたいと思っている」



横山 久義

問……………

住民票などの各種証明書等の発行を担当窓口で行っていたのを一元化し、効率化を図るため、昨年1月に総合窓口が設置され運用されている。私も、6回利用したが、手続き時間が短縮し、係員の対応も親切で説明も適切だった。

しかし、気になったことは窓口の係員の数が多すぎ、暇そうに見えた点である。住民の中には同じ感想を持たれた方が多いと思う。

尋ねると、忙しい時期及び時間帯を考慮して、人員を配置しているとのことだった。

人員配置の現状について問う。

答【総務課長】

配置形態は基本8時30分から17時15分の勤務者を4名、そして、係員の昼休憩間にサービスが低下しないよう8時30分から14時、11時30分から17時にそれぞれ1名配置している。

受付数が多い月曜日、金曜日、祝日の翌日は、10時から15時30分の勤務を別途1名配置している。

また、時間ごとの受付数のデータを踏まえ、配置体制の再検討や他の業務も取り込むなどの検討を考えている。

問……………

総合案内と総合窓口の連携について尋ねる。

総合窓口をめったに利用されない方の中には直接関係課に向かう方も多く、その方たちから不満の声を聞く。不慣れた住民の皆さんへの対応をどのように考えるのか。

また、総合案内には「証明書等の必要な方は総合窓口へ」という看板もないが、看板は必要だと思ふ。そして、総合案内係

が総合窓口へ誘導、自ら説明しカウンターまで導く。そうすれば、窓口案内人は常時1名で良い。これはあくまで一例。他にもっといい方法があると思ふが。

答【町長】

総合窓口、総合案内の人員配置で人が余っているのではないかと。税金の無駄遣いになってい

るのではないかと指摘だと思ふ。私も実際そのような声を耳にしたことがある。

「ただいま離席しております。案内中です。」というようなカードを置いて案内する等、いろいろな意見を参考にし皆様が利用しやすいような窓口体系にしていきたい。



総合窓口

輝くまちの宝

子育てサロン

子育てサロンは、篠栗町全域を対象として「ぐり'Sママ」を開催するのが始まりです。今では地域の4つの公民館でも開催され、子育て中の方に必要とされる交流の場となっています。

どのサロンでもスタッフ募集中です。

また、地域の方々とも交流したいので、子育て中でなくても、ぜひ遊びに来てください。

「ぐり'Sママ」ではママのためになる内容を企画し、カメラやヨガ、性教育など専門の講師に来てもらい「学ぶ場」としての役割も果たしています。



感じの良い話し方教室



親子ミニコンサート

問い合わせ先
社会福祉法人 篠栗町社会福祉協議会
TEL 947-7581

旬花衆灯

新聞で、「割れ窓理論」という記事を見つけた。窓ガラスを破れたまま放置していると、その街区の荒廃がどんどん進むという話である。

実際に調べた実験があり、「ゴミのポイ捨て禁止」という掲示の周りに落書きのある駐車場と、きれいな駐車場を比較すると、前者のポイ捨ては後者の2倍以上になる。

また、買い物カートが何台か放置されたスーパーの駐車場は、片付いた駐車場よりも、倍ポイ捨てがあったそうだ。(釘原直樹著)

本町では、ボランティア団体やグループが継続して美化運動を行っている。まずは、庭先・玄関先から始めよう。

栗須 信治

6月議会は

6/8(木)開会

6/12(月)一般質問

の予定です

発行責任者 議長 阿部 寛治 議会広報広聴委員会 委員長 栗須 信治/副委員長 古屋 宏治
委員 松田 國守・今長谷 武和・村瀬 敬太郎・田辺 弘之

平成29年5月1日発行

発行/篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷/株式会社三光